

平成29年度事務局経営戦略課事業計画

1 複数館を利用した事業の推進

当協会が教育文化6施設の管理運営を行っているメリットを生かし、協会として積極的に複数の施設を利用した公益性の高い事業を実施する。

事業名	内容	実施時期等
1日こども館長事業	科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりを行なうことを目的に、各施設において小学生を対象とした職場体験を実施する。	8月～1月 (計4回)
子どものための音楽会事業	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうことを目的に、各施設において乳幼児とその保護者を対象としたコンサートを実施する。各施設年1回の実施。	5月～3月 (計6回)
学習目的による施設利用推進事業	小中学校の学習指導要領と各施設の展示物を関連付けた学校利用ガイドブックと施設利用ガイドポスターを活用した「授業支援プログラム」の周知を図る。 また、学習指導要領の改定を見据えた学校利用ガイドブック改訂をするための調査研究を行う。	通年

2 広報活動の強化

各館のイベント開催情報を取りまとめ、一括して提供を行うとともに、教育・文化・芸術などに関する様々な話題も提供することで、協会全体の広報を強化する。

事業名	内容	実施時期等
機関誌「まなぶんか」発行事業	イベント開催情報の掲載だけではなく、科学・歴史・自然・文化・教育等の視点によるトピックスや催事内容を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を刊行することで、施設利用者増へ繋げる。 県内小中学校や県内市町村教育委員会、公民館等に加え、新たに市内小児科医院にも配布するよう、発行部数を増やし事業を拡充する。	年4回

3 地域への貢献

地域資源の再発見や、出前授業やアウトリーチを行うことにより、地域活性化に貢献する。

事業名	内容	実施時期等
出前授業等事業	教育文化施設として各施設が地域の教育支援に貢献することを目的に、出前授業や各種講座を希望のあった学校や地域で実施する。	通年
協会モニター事業	施設利用者の意見を施設運営や事業に反映させることを目的に、協会モニターを公募し、各施設のモニタリングや意見交換会（年2回）を実施する。	通年

4 人材の育成

事業名	内容	実施時期等
研究事業	職員が日常業務の中で課題を見つけて、研究テーマを設定し、年間を通して課題解決に向けた研究を行うことで、職員の能力開発、資質向上を図る。 研究成果については、協会内で研究発表会を実施するとともに、研究報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。 また、研究成果は次年度以降の業務改善につなげる。	通年
経営戦略調査研究事業	学術及び科学技術、文化及び芸術の振興を図るとともに、指定管理者として専門性を有し、安定的な経営基盤を構築することを目的に、協会職員が専門的、技術的な事項を経営戦略的観点から調査研究及び視察を実施する。	通年

平成29年度宮崎科学技術館事業計画

基本方針

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。昭和62年8月の当館開設以来、一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、障がい者や高齢者の利用も増え、利用者は、幼児から高齢者までの幅広いものとなっており、これら利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営に努めている。今後さらに市民から信頼されるよう、次の3つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

〈基本方針1〉科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図り、未来を担う子どもたちの「科学する心」と「創造性」を培うとともに、あらゆる世代に科学を楽しく体験する機会と場を提供する。

〈基本方針2〉地域の関係機関・団体・ボランティアと連携・協働し、利用者のニーズに応じた満足度の高いサービスの提供を通して地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉科学の普遍性と革新性を踏まえた魅力ある事業を展開するために、全職員が教育的な目的や効果を意識した事業運営を行うとともに、的確な経営感覚による施設運営を行う。

事業概要

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるような展示配置や解説に努める。

2 教室事業

科学実験や工作、パソコン、天文等各種教室を実施し、利用者の科学への興味・関心を高めるとともに、市民ニーズに対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

全天周の投影システムによる幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組の放映に加え、絵本の読み聞かせや各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムを活用した事業展開に努める。

4 イベント事業

当館の設置目的に沿った各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ機会や環境問題、エネルギー問題などを身近に感じてもらう機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業や教育ボランティアJSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)などの関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

宮崎市の多様な教育施設の活用を含め、新規事業を付加し、館の情報提供や友の会への勧誘など、施設の有効活用や館の利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約100点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気づき、体得できるように努める。また、ワークシート等で展示解説の充実を図る。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作等の教室を実施する。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	チャレンジサイエンス	入館者	30回	なし
2	不思議なサイエンスショー	入館者	10回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー2回を含む	入館者	20回	なし
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	自由研究サポート教室	小・中学生	3回	20人
6	生きがい科学館	一般	8回	各20人
7	科学技術週間工作教室	入館者(小3～小6)	2回	各80人
8	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	30人
9	コスモランド・ロボットクラブ(前期) " (後期)	小5・6 小4・5	10回 10回	16人 16人
10	コスモランド教室	園児	12回	各240人
11	出張科学実験教室(アウトリーチ)	小学生	2回	各40人
12	コスモランドサイエンスラボ	小学生	随時	なし
13	サイエンス親子学習教室	親子(小学生)	2回	各40人

(2) パソコン講座

小・中学生から一般を対象に、パソコンに対する興味・関心を高め、パソコンの基礎知識と基本操作を身につける講座を実施する。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	パソコン入門講座	一般	5日×2回	各16人
2	友の会パソコン講座	友の会対象	2日×4回	各16人
3	すいすいパソコン	小・中学生～一般	12回	なし

(3) 天文教室

幼児から一般を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽しい神話等の解説を通して、天文に関する知識の普及を行い、興味・関心を高める。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	星空教室	幼児～大人	11回	各80人
2	中秋の名月大観望会	幼児～大人	1回	約300人
3	スターウォッチング教室(アウトリーチ)	団体	5回	各30～150人程度
4	スターウォッチング in まちなか	一般市民	4回	なし
5	おはよう！月の観望会	幼児～大人	3回	なし

(4) プラネタリウム学習教室

プラネタリウムホールで、小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習する天体運動の学習を補充、深化できるような授業を行う。さらに、天文分野の学習に困難を感じている子どもたちへの理解を深める機会とし、天文に関する興味・関心を高め、知識の普及を行う。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	プラネタリウム学習教室①	小学4年生	2回	約240人
2	プラネタリウム学習教室②	小学6年生	2回	約240人
3	プラネタリウム学習教室③	中学3年生	1回	約240人

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体现象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙科学に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。

また、全天周投映システムによる各種コンサート等の演出を工夫することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投映

① 学習番組

対象区分	番組名
幼児	「オズの魔法つかい」(永)「むしむし星空大行進」(永)
小学生	「スタジオ444」(永) [小4] 「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(永) [小6]
中学生	「この空に願いをこめて…」(永) [中3]
一般	「DARK」(永)「宇宙への旅」(永)

② 一般番組

対象区分	番組名
ファミリー	「紙兎ロペ」「鷹の爪」「宇宙兄弟」「妖怪ウォッチ」「新番組①」「新番組②」「新番組③」「新番組④」「新番組⑤」「新番組⑥」「DARK」(永)「Back To The Moon For Good」(永)「宇宙への旅」(永)「宇宙のエネルギー」(永)「星になったチロ」(永)「今夜、銀河の片隅で」(永)

※(永) = 永久投映権を有する番組

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」

(2) コンサート

コンサート名		対象	期日
みんなでキラキラ 星空コンサート	(こどもの日スペシャル)	幼児～一般	5月6日(土)
	(クリスマススペシャル)	幼児～一般	12月23日(土・祝)
星空と音楽の夕べ	(Part 1 1 4)	中学生～一般	7月8日(土)
	(Part 1 1 5)	中学生～一般	9月9日(土)

(3) その他

イベント名	内 容	期 日
星空さんぽ in プラネ タリウム	星座等の世界に浸れる50分間の星空生解説を行う。解説後はミニ観望会を行う。	不定期 【4回】
キッズ プラネタリウム	プラネタリウムホールの照明を明るめに設定し、幼児向けに楽しい星の話をプラネタリウムや映像で行う。	原則偶数月第4木曜 【6回】
絵本の読み聞かせ in プラネタリウム	ドームに絵本を大きく投映し、ボランティアの朗読とともに絵本の読み聞かせを行う。	原則毎月第2火曜 【12回】

4 イベント事業

あらゆる世代を対象に、科学に関する興味・関心を高めるイベントや環境問題など、社会の変化に対応した身近なテーマを取り上げた各種イベントを主催や共催により行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内 容	期 日
1	サイエンスカフェ	科学者と市民をつなぎ、科学的で正しい判断ができる市民を育成するために、科学の専門家と市民が集える機会を設け、科学の有用性を周知する。また、中心市街地活性化にも寄与するイベントの実施を行う。	通年 【3回】
2	【新規】 開館30周年記念事業 企画展「アポロ展」	アポロ計画で持ち帰られた「月の石」や米ソの宇宙開発競争、最新の宇宙探査や技術について、パネルや模型を使った展示を行う。	4月29日(土・祝) ～5月28日(日)
3	ゴールデンウィークイ ベント こどもの日 無料開放日	鯉のぼりを正面玄関付近に設置するとともに、サイエンスショーや工作教室等を実施する。多く子どもたちに科学に親しんでもらうために、こどもの日は全館入館無料とする。	4月29日(土・祝) ～5月7日(日)
4	第9回 地球を守ろう！ 環境展	環境問題を解決するための科学技術に関する展示会や実験教室等を実施することにより、環境問題への関心を高め、科学技術への理解を深める。	6月3日(土) ～6月25日(日)
5	南極パネル展 南極の氷贈呈式 &実験ショー	自衛隊及び国立極地研究所の協力により南極の氷を贈呈してもらい、自然環境を考える機会にする。南極を紹介したパネル展示や、南極の氷を使った簡単な実験をする。	7月5日(水) ～7月21日(金) 贈呈式実験ショー 7月17日(月・祝) ※実験ショーは夏休み期間中の数日間

No.	イベント名	内 容	期 日
6	「命の科学」フェア 医学体験ゾーン 「なるほど!なっとく!人体の科学」 防災体験ゾーン 「なるほど!なっとく!防災の科学」	「医学」と「防災」の2面から、「命」について科学的、体験的に考えることができる場を提供する。「医学体験」を通して、自分の体を知り、健康への意識を高める。また、「防災体験」を通して、災害への認識を深め、防災意識の高揚及び、その啓発を図る。	7月23日(日)
7	青少年のための科学の祭典2017宮崎大会	科学や科学技術の不思議さや楽しさを身近に体験できる実験ブースを多数用意し、面白さと不思議さを通して科学や科学技術に対する興味・関心を深める。 ※プラネタリウムを除いて入館無料	7月28日(金) ～30日(日)
8	開館記念日 ・感謝のつどい 無料開放日	開館記念日を利用者への感謝の日とし、全館入館無料でサイエンスショーや工作教室等を実施する。	8月2日(水)
9	スターフェスティバル	市民への天文活動の普及啓発を目的として、星の写真パネルやビデオ紹介などを行う。期間中に講演やワークショップ、観望会等を実施する。	8月2日(水) ～31日(木)
10	教員のための 博物館の日	宮崎県総合博物館等と連携し、教員を対象に、博学連携の取組について周知していく。(H29は、博物館での実施を予定している。)	8月4日(金) 予定
11	科学技術館シルバーdays	高齢者を敬い、また高齢者と家族が楽しく過ごす場を提供するため、65歳以上の方及びその同伴家族の方全員を入場無料にする。	9月16日(土) ～18日(月・祝)
12	第8回 JSCフェスティバル	科学技術館シルバーdaysにあわせて、JSCの活動の様子を写真・作品展示で紹介し、実験ショーを同時に行う。	9月16日(土) ～18日(月・祝)
13	【新規】 開館30周年記念事業 「宇宙こども ワークショップ」	日本宇宙少年団(YAC)の職員を講師に、火星の話とバルーンローバー探査機の模型作りを行う。	10月8日(日)
14	ナイトミュージアム	ハロウィンをテーマに、夜間を効果的に使った演出とプログラムを準備し、科学館の面白さの再発見と、科学現象や科学技術に対する興味・関心を深める機会にする。	10月28日(土) ～29日(日)

No.	イベント名	内 容	期 日
15	第24回 宇宙画作品展	県内の小中学校から宇宙に関するテーマにそった絵画を募集し、その入選作品を展示する。最優秀賞を受賞した作品は全国の作品展に出展する。	11月29日(水) ～12月17日(日) 表彰式 12月10日(日)
16	【新規】 開館30周年記念事業 巡回展「オーロラ 宇宙からの手紙」	全国科学館連携協議会の提供する巡回展を実施する。フィンランド北部で撮影されたオーロラの写真(25点)を展示する。	12月19日(火) ～1月7日(日)
17	【新規】 開館30周年記念事業 巡回展 「地球から宇宙へ」	全国科学館連携協議会の提供する巡回展を実施する。最新鋭の望遠鏡がとらえた天体写真や、世界第一級の天体写真家やアマチュア天文学者の手による作品(45点)を展示する。	2月3日(土) ～25日(日)
18	【新規】 開館30周年記念事業 ワークショップ 「風船プロジェクト」	風船とパラシュートを使った宇宙撮影を行っている企業から講師を招く。宇宙撮影の方法等についての講演と、パラシュート作りのワークショップを行う。	2月24日(土) ～25日(日)
19	【新規】 開館30周年記念事業 巡回展「太陽のふしぎ」	全国科学館連携協議会の提供する巡回展を実施する。太陽観測衛星「ひので」をはじめとする最新鋭の観測装置によって明らかにされつつある太陽の姿を豊富な写真やイラスト(29点)で展示する。	3月4日(日) ～25日(日)
20	各種団体助成事業	助成団体：WRO Japan 2017 宮崎大会実行委員会 レゴブロックを用いて、課題に応じた自律型のロボットをつくり、競技会を行う。小・中・高等学校別に競技を行い、優勝者は全国大会に出場する。	8月4日(金)
		助成団体：宮崎少年少女発明クラブ 小・中学生に創作活動の場を提供し、科学的な興味・関心を高めるとともに、ものづくりの喜びを体得させる。	年間を通して20回
		助成団体：JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ) 当館で実施する各種イベントやサイエンスショーなどに協力し、科学する青少年の育成及び生涯学習に寄与することを目的とする団体である。	随時

(2) 共催事業

No.	イベント名	内 容	期 日
1	航空教室 (航空大学校主催)	小・中学生を対象に、空を飛ぶことについての正しい知識を持ってもらうことを通して、航空思想の普及啓発を図る。	7月 1日 (土) 1月 27日 (土)
2	宮崎地区サイエンス コンクール展 (みやざきの科学教育推進 事業実行委員会主催)	宮崎地区(1市2町)の小・中学生、 高校生の理科の自由研究に関する作品 展を行うことを通して、科学技術への 興味・関心を高める。	9月 2日 (土) ～14日 (木)
3	宮崎県発明くふう展 (宮崎県発明協会主催)	創造力に富む人材の育成と発明の奨 励を図るとともに、その実用化を促進 し、科学技術に対する意識の高揚と本 県工業の発展に寄与する。	10月13日 (金) ～15日 (日)
4	宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を 展示し、中学生や関係者の科学館利用 を図る。	10月31日 (火) ～11月12日 (日)
5	県特別支援学校アート展 (宮崎県特別支援学校 アート展事務局主催)	県内の特別支援学校の児童生徒によ る作品を展示して、子どもたちの作品 展示の場を提供する。	11月21日 (火) ～26日 (日)
6	宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による硬筆の作品を 展示し、中学生や関係者の科学館利用 を図る。	1月12日 (金) ～21日 (日)

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

- (1) 小・中学校、高校、大学、企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実と、相互補完体制を築き、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 「JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)」との連携を通して、教室事業等の一層の充実を図るとともに、アウトリーチ活動を積極的に展開する。
- (3) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用による各種コンサートの開催等を通じて市民の天文科学への興味・関心を高める。
- (4) 宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学(各工作教室開催日における教育研修生の派遣等)との連携により、来館者への案内サービスの向上に努める。

6 その他

- (1) 広報の充実
ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用し広報の充実に努める。
- (2) 売店事業の円滑な運営
来館者へのサービス向上を図るため、売店の円滑な運営・充実に努める。
- (3) 他館との連携
宮崎市歴史資料館などとの連携により、イベントにあわせた天体観望会を実施する。

平成29年度宮崎市歴史資料館事業計画書

基本方針

みやざき歴史文化館は、歴史、民俗、神話等に関する資料の収集、保管、展示のほか、子どもたちや市民に郷土の歴史、伝統文化、神話等に接する機会と場所を提供するため、平成4年に市制60周年記念事業の一つとして蓮ヶ池史跡公園に建設された。また、宮崎市佐土原歴史資料館は鶴松館（H.5年開館）・佐土原出土文化財管理センター（H.7年開館）・商家資料館「旧阪本家」（H.13年開館）から成り、佐土原地区の歴史や文化等を紹介するとともに、資料の保管・研究のために建設された。宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、平成5年に高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園に建設され、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保管・展示している。

平成29年度から佐土原歴史資料館と天ヶ城歴史民俗資料館の開館日は限定されるが、みやざき歴史文化館へ事務等の集約と職員相互の連携を円滑に行い、充実した施設運営を目指す。

そこで、「宮崎市歴史資料館3館」として、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために事業を展開していき、管理運営の基本方針を次の3つとする。

- | |
|--|
| <p>〈基本方針1〉宮崎の歴史、民俗、神話等に関する調査及び研究、展示、講座などをおして、ふるさとのあゆみについての興味・関心を高め、郷土愛を育む。</p> <p>〈基本方針2〉地域の関係機関・団体と連携し、歴史文化の拠点施設として、地域資源の調査・研究並びに活用・発信をとおして地域づくりに寄与する。</p> <p>〈基本方針3〉コスト管理に基づいた効率的な施設運営をより一層推進する。</p> |
|--|

事業概要

1 展示事業

常設展示では、各館の歴史的背景、地域の特色等を踏まえ、展示物の入れ替えや、解説方法を工夫し、利用者が宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、日向神話等を楽しく学習する場を提供する。また、企画展示では、地域特性も考慮しながら、その年度に応じた収蔵資料を公開する。また様々な年齢層に興味を持っていただく内容の特別展を企画する。

2 講座・体験学習事業

専門家による古文書講座や歴史文化講座、地域の人材による田畑での農耕体験学習、学習指導員等による体験学習など幅広く学べる内容とする。

3 イベント事業

こどもの日イベントや夏の特別展等をはじめとして、季節や地域の伝統を取り入れ利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する。

4 授業支援・出前講座事業

各学校に出向き、収蔵する昔の道具を活用した小学校社会科の授業の支援や、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

5 その他

資料の寄贈・寄託や調査研究により収蔵資料の充実を図るとともに、ホームページやSNS等を活用した情報発信、年報・研究紀要による普及活動の充実を図る。

【みやざき歴史文化館】

1 展示事業

(1) 常設展示

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話の世界に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、調査研究し、1階展示ホールや2階展示ホール、ギャラリーを利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	期 日
1	企画展① 「歴史文化館のあゆみ展」	前年度に実施した各種体験学習等の様子をパネルで紹介する。	4月15日(土) ～5月7日(日)
2	【新規】企画展② 「むかしの子どもたちのくらし展」	子どもたちにまつわる学用品や懐かしいおもちゃなどを紹介する。	7月15日(土) ～9月3日(日)
3	【新規】みやざき歴史文化館開館25周年記念事業 企画展④「収蔵品展」	寄贈を受けた資料を中心とした収蔵資料の公開を行い、25年の歩みを振り返る。	10月14日(土) ～12月3日(日)
4	【新規】企画展③ 「宮崎の美術」	当館に保存してある市が所蔵する数多くの絵画を紹介する。	11月4日(土) ～12月3日(日)
5	【新規】企画展⑤ 「昔の道具展」	大型の民具や教科書で紹介されていない昔の道具を紹介する。	1月13日(土) ～2月25日(日)
6	【新規】企画展⑥ 「歴史3館合同収蔵品展」	3館所蔵の資料を1つのテーマに沿って展示紹介する。	2月17日(土) ～3月25日(日)

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎の歴史事象や歴史上の人物を取り扱った内容、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開設する。	5回	各50人
2	古文書講座	初級から中級程度の内容で年間16回開催する。	16回	各50人
3	歴史探訪	宮崎市及び宮崎市近郊にある史跡や文化財の見学をする。 9月16日、10月28日、11月18日、 12月16日、3月10日	5回	各20人

3 体験学習事業

昔から行われてきた農耕体験学習、昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習を実施する。
体験学習講座の意義をひとつの文化の伝承であると捉え実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
1	農耕体験学習	さつまいもを栽培し、収穫した芋で焼き芋を作る。	4回	子どもと保護者 50人	5月14日(日) 5月21日(日) 7月23日(日) 10月8日(日)
2	竹を使ったおもちゃ作り	竹馬を作る。	1回	子どもと保護者 30人	5月28日(日)
3	けん玉作り	竹でけん玉を作って遊ぶ。	2回	子どもと保護者 30人	6月11日(日) 9月17日(日)
4	まが玉作り	滑石の教材でまが玉作りをする。	2回	子どもと保護者 30人	6月25日(日) 2月18日(日)
5	釣竿を作って魚を釣ろう	竹の枝を落とし、油を抜いて釣竿を作り、その竿で魚を釣る。	2回	子どもと保護者 40人	7月 9日(日) 7月16日(日)
6	水鉄砲作り	竹で水鉄砲を作る。	1回	子どもと保護者 30人	8月 6日(日)
7	ミニ埴輪作り	ミニ埴輪を作る。	2回	子どもと保護者 20人	8月27日(日) 10月29日(日)
8	藍染のハンカチを作ろう	ハンカチを藍で染める。	2回	子どもと保護者 25人	10月15日(日) 2月11日(日)
9	ネイチャーゲーム	史跡公園内で自然を体感しながら様々な遊びをする。	1回	子どもと保護者 一般 30人	10月22日(日)
10	どんぐりを使ったおもちゃ作り	館周辺のどんぐりを使って、やじろべえなどのおもちゃを作る。	1回	子どもと保護者 30人	11月12日(日)
11	ミニクリスマスツリー作り	史跡公園内の松ぼっくりを使って、クリスマスツリーを作る。	1回	子どもと保護者 30人	11月26日(日)
12	歴史館の餅つき	臼や杵を使用して餅をつく。	1回	子どもと保護者 50人	12月 3日(日)
13	ミニ門松づくり	正月用のミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 40人	12月10日(日)
14	しめ縄づくり	正月用のしめ縄を作る。	1回	子どもと保護者 30人	12月17日(日)
15	独楽作り	独楽を作って楽しく遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	1月14日(日)
16	羽釜でご飯炊き	かまどと羽釜でご飯を炊く。	1回	子どもと保護者 30人	1月21日(日)
17	おひなさまを作る	身近な材料を使って雛人形を作る。	1回	子どもと保護者 30人	2月25日(日)
18	きな粉作り	石臼を使って、粉挽き体験をする。	1回	子どもと保護者 30人	3月11日(日)

4 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
こどもの日イベント	5月3日～5日の3日間に、鎧・兜の試着、野点、ウォークラリー、竹細工、紙兜作り、メンコ作り、まが玉作り等を行う。	5月3日(水・祝) ～5月5日(金・祝)
夏休みイベント	夏休み期間中に「魚のつかみ取り」、「史跡公園生き物採集教室」などを実施する。	7月22日(土) 7月30日(日) 8月20日(日)

5 授業支援・出前講座事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資することや、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

6 回想法による福祉連携推進事業

福祉分野や地域との連携推進を目的に、地域の方々から寄贈された昔の生活用品等を用いた「回想法貸し出しセット」を活用し、福祉施設を対象にしたセット貸し出や、関係団体との連携を図る。

7 その他

(1) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行い、薬害等のリスクの高い薬剤燻蒸の規模の縮小を図る。

併せて24時間の温湿度管理を行い、記録データを常に監視しながら歴史資料の保存・展示に適した環境作りに努める。

(3) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

(4) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成29年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(5) 広報の充実

館の行事案内やホームページ、市広報の「遊・学・感」ページなどを有効活用し、来館者増加に努める。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史（特に佐土原藩の歴史）民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集・借用し、鶴松館や商家資料館等を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	期 日
1	【新規】 「佐土原の伝統猟法 巨田池の鴨網猟」	佐土原巨田地区に伝わる鴨網猟法は、古来の伝統猟法（県指定無形民俗文化財）で、全国でも数例しかない珍しい猟法である。同猟の様子を写真パネルや映像で紹介し、猟具や歴史資料等を展示する。	5月15日(月) ～6月14日(水)
2	【新規】 「旗本 島之内島津家 -もう一つの島津家-」	江戸時代 元禄3(1690)年、第5代佐土原藩主 島津惟久の番代(藩主代理)を務めた島津久寿は、徳川家直属の家臣 旗本となり、佐土原島津家から分家して島之内島津家を興した。以後、同家が幕末に至るまで現在の宮崎市住吉地域等を治めたことは、あまり認知されていない。当展では、同家について紹介する。	10月28日(土) ～12月17日(日)

2 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習等を親子や一般参加者を対象に実施する。

NO	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
1	佐土原城探検	佐土原城(山城)を散策しながら、城の歴史や構造を学ぶと共に自然に親しむ。	1回	大人・子ども 30人	4月23日(日)
2	茶道体験	茶道流派指導者のもと、鶴松館の大広間を利用し伝統的な茶道を体験する。	1回	大人・子ども 20人	5月7日(日)
3	生け花体験	生け花ボランティア会の指導のもと、鶴松館大広間で和の雰囲気のある生け花を体験する。	1回	大人・子ども 20人	6月18日(日)
4	佐土原人形の絵付け	佐土原人形制作者の指導のもと人形の半製品に絵付けを行う。	1回	大人・子ども 25人	9月10日(日)
5	うずら車の絵付け	伝統的工芸品の一つである「うずら車」の半製品に保存会の指導のもと絵付けを行う。	1回	大人・子ども 25人	10月15日(日)

NO	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
6	乗馬体験	城跡や鶴松館を利用し、馬に乗っての戦いや動物との触れ合いをテーマに乗馬を体験する。	1回	大人・子ども 20人	11月5日(日)
7	城下町散策	鶴松館周辺に存在する寺社史跡等を説明を交え巡る。	1回	大人・子ども 20人	11月26日(日)

3 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
佐土原花しょうぶ祭り	鶴松館裏手にある花しょうぶ園の開花に合わせ、地域づくり協議会に協賛し、花しょうぶ観賞のためのイベントを実施する。	6月3日(土) ～4日(日)
神代独楽回し大会	佐土原の伝統的工芸品の神代独楽を使い、大人と子どもの部門別に独楽の回っている時間を競う。	1月7日(日)

4 授業支援・出前講座事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資することや、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

5 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財等の写真収集・調査研究を行い資料の充実を図る。

(2) 宮崎市城の駅(いろは館)との協働

5月の連休時などには、子ども達をメインにしたイベント等を実施し、当館といろは館の認知度を高め相乗効果を図る。

(3) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し、来館者増加に努める。また、地域づくり協議会等とも連携をとり広報等に努めていく。

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	期 日
1	企画展① 「天ヶ城蔵出し展」	平成28年度の寄贈資料を含め、当館学芸員が厳選した資料を公開する。	4月3日(月) ～5月14日(日)
2	【新規】企画展② 「高岡の指定文化財展」	高岡町域に残る国・県・市指定文化財について紹介する。	3月15日(木) ～4月15日(日)

2 体験学習事業

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した制作体験を親子対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
1	弓矢づくり	自然素材である竹を利用して弓矢を作り、的当て遊びをする。	1回	子どもと保護者 30人	6月18日(日)
2	水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作って遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	7月23日(日)
3	ゴム動力自動車づくり	ゴム動力自動車を作って動かして遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	8月20日(日)
4	草木染めをしよう	身近な植物を使って、布を染める。	1回	幼児から一般 30人	9月10日(日)
5	芋掘り	芋掘り体験を行う。	1回	子どもと保護者 40人	10月22日(日)
6	凧を作って遊ぼう	身近な材料で凧を作って凧揚げをして遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	11月19日(日)
7	ミニ門松作り	正月に合わせて玄関に飾るミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 40人	12月17日(日)
8	二見家かまど炊飯	昔の人々が日常生活で使用していた炊飯道具でご飯を炊く。	1回	子どもと保護者 40人	2月18日(日)
9	高岡町・町並み探検	高岡町中心部・麓集落に残る武家門や石垣を散策する。	1回	小学生と保護者 30人	3月18日(日)

3 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
(仮称) 桜まつり	館内および山城ウォークラリーなど子ども向けかつ、公園利用までを視野に入れたプログラムを設定し、来館を促すとともに館の周知を図る。	3月24日(土)

4 授業支援・出前講座事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資することや、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

5 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 年間広報紙の配布

当館の事業紹介・講座参加者募集など行うため、高岡地区自治会あての回覧紙として、年1回3月に、翌年度の事業を紹介する「天ヶ城だより」を配布する。

(3) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し、来館者増加に努める。

平成29年度大淀川学習館事業計画

基本方針

大淀川学習館は、宮崎市制70周年記念事業により、大淀川浄化活動及び大淀川学習のシンボリックな施設として、次世代を担う子どもたちを中心に、身近にある自然を実際に見て・触れて・体験し、大淀川や環境問題について主体的に学ぶことを通して、大淀川の自然や水資源を大切に作る心や郷土を愛する心を培うことを目指して設置された。

開館以来、設置趣旨を踏まえ、施設・設備の効果を最大限に発揮できるよう管理運営に努め、多くの方に利用頂いているが、近年では、身体に障がいがある方や高齢の方等の利用も増え、利用者の幅も更に広がってきている。

より多くの方々に愛され、活用される施設となるよう、以下の3つの運営方針のもと、利用者の多様なニーズを踏まえた管理運営に今後も努めていく。

- | |
|---|
| <p>〈基本方針1〉 未来を担う子どもたちに、大淀川の自然体験などを通して、河川環境に対する意識の啓発を図るとともに、郷土を愛する心を培う。</p> <p>〈基本方針2〉 関係機関団体と連携し広く市民に開かれた生涯学習、郷土学習、環境学習の拠点としての事業展開を通して、地域づくりに貢献する。</p> <p>〈基本方針3〉 効果的かつ効率的な施設運営に努めるとともに、職員の創意・工夫により魅力あるサービスを提供する。</p> |
|---|

事業概要

1 展示事業

常設展示の維持・管理に努めるとともに、利用者が最良の状態で活用できるよう、季節や学校での学習内容に応じた展示運営を行う。また、当館の設置目的を達成するために、環境保護に関する明確なメッセージを発信する企画展示や作品展示等の工夫・改善に努め、学習機能の充実に努める。

2 学校対応事業

学校や保育所等の教育・保育課程に沿った支援や、学校教育及び社会教育に係る指導者に対する支援を行い、教育効果の向上や、指導者の技術の向上に資する。

3 団体対応事業

学校や保育所等の教育関係以外の団体が、河川環境学習を目的とした活動を行う際に、当館が支援を行い、河川浄化等についての啓発を行う。

4 教室事業

各種の実験・工作や、観察・採集、大淀川での体験活動等を通して、大淀川流域の環境やそこに生息する動植物について参加者の興味・関心を高め、ニーズにあった事業の実施に努める。

5 イベント事業

各種イベントの内容や実施時期など、参加者の現状に即して工夫・改善を図るとともに、大淀川の環境や動植物に接する場を提供し、当館の利用促進に努める。

6 その他

マスコミ等への情報提供、ホームページ、ブログ、フェイスブック等を通して、大淀川流域の自然に関する情報の提供に努める。

1 展示事業

(1) 常設展示

職員の経験や専門性を活かし、大淀川をはじめとする河川及びその流域の自然、文化、歴史などや学習指導要領に示された内容について、みて・ふれて・楽しみながら学ぶことのできる展示を行い、河川環境に対する興味・関心を高める。

No.	展示名	内 容
1	テーマ展示	来館者が常に新鮮な気持ちで展示物を見学できるように、展示機器のメンテナンスと展示内容の工夫・改善に努め、定期的に展示物の入替を行う。
2	生体展示	大淀川水系に見られる魚、水生小動物、昆虫等の生体展示を通して、生物の生態や生息環境について興味・関心を高めるとともに理解を深める。また、動植物の飼育・栽培技術の確立と計画的な展示に努め、生体の種類の確保と補充を図る。
		自然楽習園 小川が流れ、外気とほぼ同温度の施設内で、チョウの生体展示を通して、自然理解のための学習の場とする。チョウの個体数や種類の維持、増進に努める。
		展示ホール 大淀川水系で見られるアカメやヤマメなどの魚、水生小動物等の生体を大型・小型・円型など様々な形の水槽で展示する。生物の生態や生息環境についての理解を深められるように、説明活動や掲示物についても工夫する。
	ホタル展示室 環境保全課・ホタル保存会の支援のもと、ホタルの生態や生息環境について理解を深められるよう、展示方法や飼育方法の改良を進める。	
3	コーナー展示	各コーナーの展示物の計画的運用を図り、ミニギャラリーコーナーをはじめとする施設内の壁面やスペース等を活用して、展示の充実を図る。また、館の教室事業等で作成した作品や優秀な個人の研究物等も展示し、市民の情報発信の場としても活用する。
4	里山の楽校	樹木の育成や維持管理などを行い、昆虫等の小動物や植物と触れ合うことのできる環境を整備するとともに、大淀川水辺の楽校との連携を図る。
5	大淀川水辺の楽校	宮崎市公園緑地課の管理する「大淀川水辺の楽校」を有効活用し、本館や里山の楽校と併せて屋内外の総合的な体験学習の場として事業を展開する。

(2) 企画展示

年間を通して、当館の設置趣旨に沿った企画展示や作品展示を開催することを通して、大淀川の動植物、文化、環境についての興味・関心を高める。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	春の特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」	子どもたちに人気の「アメリカザリガニ」釣りを体験できる展示コーナーを準備する。さらに、その生態や在来種と外来種との関係についての展示パネルも設置し、水資源や大淀川流域の自然を大切にする意識を育てる。	4月8日(土) ～ 6月11日(日)
2	夏の特別企画展 「森の生き物と仲良くなろう！カブトムシ・クワガタムシ展」	大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシを自然に近い状態で観察することを通して、生態や生息環境についての理解を深め昆虫への興味・関心を高める。	7月1日(土) ～ 9月18日(月・祝)
3	作品展示 「第17回大淀川流域の写真展」	大淀川流域の動植物・風景等の写真を募集・展示することにより、流域の動植物や自然への関心を高め、自然を大切にする心を育てる。	9月13日(水) ～ 10月1日(日)
4	秋の企画展 「よく見てみよう！ちよっぴりこわい生き物展」	一般的に怖がられやすい生き物の展示を通して、正しい付き合い方を学ぶとともに、その存在価値について考える機会にする。	9月23日(土・祝) ～ 10月29日(日)
5	秋の特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ドクターフィッシュ体験」	人の角質を食べてくれる魚「ドクターフィッシュ」を多数用意し、タッチプールで触れる体験を通して、水の生き物と親しみ、自然を大切にする意識を育てる。	9月30日(土) ～ 11月5日(日)
6	作品展示 「第23回大淀川流域の動植物画コンクール」	大淀川流域に生息する鳥・魚・昆虫等の動物や植物の精密画を募集・展示することにより、大淀川流域の動植物に対する関心を高め、動植物を正確に観察する力を育てる。	10月7日(土) ～ 11月23日(木・祝)
7	秋の企画展 「ちっちゃい生き物 大たんけん展」	昆虫や植物などの体のつくりをミクロの視点から見つめ、緻密さや美しさを伝えるとともに、自然を生き抜くための工夫なども紹介する。	11月11日(土) ～ 12月10日(日)
8	冬の企画展 「カラー魚拓への誘い」	カラー魚拓の展示を通して魚の形や色、模様などの特徴を捉え、魚類への興味・関心を高める。	12月2日(土) ～ 1月8日(月・祝)
9	冬の企画展 「県産材積み木で遊ぼう！」	宮崎県産材を使った積み木4000個での自由な作品づくりを通して創造力を養うとともに、地域の川を育む森林や樹木への興味・関心を高める。	12月16日(土) ～ 3月25日(日)

No.	企画展示名	内 容	実施時期
10	冬の企画展 「幸せかもんカメ カメ展」	新年を迎えるに当たって古来より縁起の良い生き物とされるカメを展示し、運玉コーナーやふれあいイベントなどを行うことを通して、水の生き物と親しみ、自然を大切にする意識を育てる。	1月4日(木) ～ 1月28日(日)
11	冬の企画展 「大淀川のお散歩 パネル展」	大淀川流域の様々な風景等を流れに沿って散歩する形でパネル化し、大淀川及び周辺地域への関心を高める。	1月30日(火) ～ 3月25日(日)
12	春の企画展 「春一番！ひな山 展」	大淀川流域の綾町で生まれた「ひな山」をエントランスホールに展示することを通して、大淀川流域の民俗文化への関心を高める。	2月3日(土) ～ 3月4日(日)

(3) 川のシアター

オリジナルの3Dハイビジョン映像の上映を通して、大淀川の自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、河川浄化に関する意欲を高める。

No.	上映名	内 容	実施時期
1	定常上映	平日は5回、休祝日は6回、定時に大淀川流域の自然に関する3Dハイビジョン番組の上映を行う。	通年
2	団体上映	団体の視聴目的に応じた番組を選択し、大淀川の自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、河川浄化に関する意欲を高める。	随時
3	特別上映	夏季休業中は毎日6回、大淀川流域の自然に関する3Dハイビジョン映像を上映し、自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、当館の利用促進に努める。	夏季休業期間

(4) 展示解説

No.	講座名	内 容	実施時期
1	ミニ講座	河川、自然、環境に関する内容について、館職員が説明・講話を行うことを通して、自然や環境に関する興味・関心を高める。館職員がもつ様々な特技を生かすことで講座の充実に努める。	通年 【月2回以上】
2	さかなたちの食事 タイム	大型水槽等の魚が餌を食べる様子を公開することで、魚の生態についてのより深い理解を促すとともに、大淀川に生息する魚への興味・関心を高める。	通年 【100回】

(5) 講演会

河川や自然、環境に関する内容について、専門家を招き講演会を実施することを通して、河川や自然、環境に関する興味・関心を高める。

2 学校対応事業

(1) 授業支援

学校や保育所等の授業や保育の協力要請に対して、随時柔軟に対応し、教育効果の向上を図る。

(2) 指導者支援

学校教育及び社会教育において、小・中学生の指導に当たる者を対象とし、その指導力の向上を図る。

No.	講座名	内 容	定員	実施時期
1	授業力向上 チョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	30人	4月21日(金)
2	授業力向上 メダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	15人	6月2日(金)

(3) 子ども会・PTA支援

小・中学校の児童生徒、保護者を対象とし、講義や観察、工作を通して、動植物や環境に対する関心を高める。

3 団体対応事業

社会教育関係団体や行政機関等、学校以外の団体から河川環境保全を目的とした活動の要請がある場合、当館が出前形式で活動支援を行い、環境や生き物についての学習を行う。

4 教室事業

(1) 環境教室

大淀川の自然環境や水資源について、観察、実験、見学等を通して理解を深める。

No.	教室名 (開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	ホタル環境教室 (山崎地区)	実際にホタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	40人	5月13日(土)
2	川の生き物で 水質環境調査 (深年川 法華嶽)	水生生物を指標とする水質調査を行うことを通して、水環境の保全に対する理解を深める。	30人	5月28日(日)
3	自由研究にぴったり！ 浄水場見学会 (上下水道局施設)	宮崎市上下水道局と連携し、関連施設を見学することを通して、水の大切さを理解する。	20組	7月25日(火)
4	自由研究にぴったり！ 大淀川水質環境パックテスト (実験・工作室)	パックテストを使って水質検査をすることを通して、大淀川の水質について理解する。	10組	8月5日(土)

(2) 飼育・観察教室

大淀川流域の動植物の観察、採集、飼育を通して、大淀川や周辺環境についての興味・関心を高める。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	メダカの 飼育・観察教室 (実験・工作室)	メダカの飼育の仕方を学習し、卵の観察をすることを通して、身近な魚への興味を高める。	12組	6月3日(土)
2	バスで行くオオムラサキ自然観察会 (須木地区ほか)	宮崎昆虫同好会と連携し、小林市を中心に大淀川流域に生息するオオムラサキを観察する。	20人	6月24日(土)
3	明かりに集まる 昆虫観察会 (里山の楽校)	里山の楽校において、ライトトラップに集まった昆虫を観察する。	20組	7月8日(土)
4	カブトムシ・ クワガタムシの 飼育・観察教室 (実験・工作室)	カブトムシ・クワガタムシの飼育の仕方を学習し、その生態を観察することを通して、身近な昆虫への興味を高める。	40人	7月17日(月・祝)
5	水辺の生き物 観察会 (水辺の楽校)	水辺に集まる冬鳥や昆虫の観察を行うことを通して、身近な動物への興味・関心を高める。	20組	2月25日(日)

(3) 活動教室

大淀川での体験活動や大淀川流域の素材を活用する活動を通して、大淀川や流域の自然環境に親しむ。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	ミツバチのハチミツを あつめよう！ (里山の楽校)	巣箱内のハチの様子を観察しハチミツ採取を行うことを通して身近な昆虫への興味を高める。	20組	4月23日(日)
2	アユの稚魚を 放流しよう！ (柳瀬橋下河原)	アユの稚魚を大淀川に放流する体験を通して、大淀川の魚や環境への興味・関心を高める。	20組	4月22日(土)
3	ハーブティーを 楽しもう！ (杉の家)	ハーブの育て方や利用方法、楽しみ方を体験することを通して、植物の効用について学ぶ。	20人	10月22日(日)
4	シイタケの種駒 打ちをしよう！ (里山の楽校)	シイタケの栽培を通して、里山やキノコに対する理解を深める。	20組	3月4日(日)
5	食べられる野草を探し てみよう！ (水辺の楽校)	水辺の楽校にある食用、薬効のある植物を採集することを通して、身近な野草への興味・関心を高める。	20組	3月25日(日)

(4) ものづくり教室

動植物や自然保護に関係するものづくり活動を通して、大淀川や流域の自然環境に親しむとともに、創造する力・工夫する力の育成に寄与する。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	昆虫標本を 作ろう！ （実験・工作室）	採集したチョウやトンボを使って標本を作ることを通して、流域に生息する昆虫に親しむ。	20人	6月18日（日）
2	植物標本を 作ろう！ （実験・工作室）	植物標本の作り方を学習し、実際に標本作製することを通して、身近な植物への興味を高める。	20組	7月30日（日）
3	貝がらで 工作しよう！ （実験・工作室）	貝殻を使っていろいろなオブジェを作ることを通して、大淀川河口に生息する生物に親しむ。	20組	8月13日（日）
4	植物でウェルカム ボードを作ろう！ （実験・工作室）	ウェルカムボードの作製を通して、身近な植物活用についての興味・関心を持たせる。	10組	10月1日（日）
5	野鳥の巣箱を 作ろう！ （実験・工作室）	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を理解する。	10組	11月12日（日）
6	まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう！（実験・工作室）	まつぼっくりを使って、季節感豊かなクリスマスツリーを作る。	20組	12月3日（日）
7	カラー魚拓を 制作しよう！ （実験・工作室）	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	10人	12月10日（日）
8	ミツロウでオリジナルキャンドルを作ろう！（実験・工作室）	ミツバチの巣から採ったミツロウを用いて、自分だけのオリジナルキャンドルを作る。	10組	12月17日（日）

（5）園児教室

宮崎市及び周辺2町の幼稚園、保育所等の園児を対象に、動植物の観察やふれあい体験、工作活動を通して生き物に対する関心を高める。

（11月～2月の期間に26回開催）

5 イベント事業

（1）季節のイベント

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境問題解決のための活動を行う。

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
春	グリーン アドベンチャー （水辺の楽校）	植物に関するクイズに答えながら、春の自然観察を楽しむ。	20組	4月16日（日）

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
春	ミニつり大会 (本館池周辺)	特設のプールで、発泡スチロールでできた魚を釣って楽しむ。	小学生以下 先着 100 人	5 月 5 日 (金・祝)
春	カブトムシの 幼虫を育てよう (宮崎科学技術館 連携事業)	宮崎科学技術館で配布されたチケットをもって本館に来られた方に、カブトムシの幼虫をプレゼントする。	宮崎科学技術館来館者	5 月 6 日 (土)
夏	カブトムシ・ クワガタムシの クイズ大会 (レクチャー室)	カブトムシ・クワガタムシに関するクイズを楽しむ。	小学生以上 先着 100 人	7 月 16 日 (日)
夏	カブトムシ・ クワガタムシの すもう大会 (レクチャー室)	飼育しているカブトムシ・クワガタムシを持ち寄り、すもうを楽しむ。	全来館者 先着 100 人	8 月 6 日 (日)
夏	メダカすくい大会 (本館池周辺)	金魚すくいの要領で、メダカをすくって楽しむ。	小学生以下 先着 100 人	9 月 17 日 (日)
秋	アユのつかみどり大会 (本館池周辺)	特設のプールに泳ぐアユをつかんで楽しむ。	小学生以下 先着 100 人	10 月 9 日 (月・祝)
秋	水辺の楽校紙飛行機大会 (水辺の楽校)	家族等で一緒につくった紙飛行機を水辺の楽校の自然の中で飛ばして楽しむ。	全来館者 先着 30 組	10 月 29 日 (日)
冬	ふれあいもちつき大会 (本館池周辺)	正月を迎えるにあたり、日本の伝統文化であるもちつきを楽しむ。	全来館者 なくなり次第	12 月 23 日 (土・祝)
冬	昆虫輪投げ大会 (レクチャー室)	チーム対抗で、昆虫が描かれた的を狙い輪投げを楽しむ。	全来館者 先着 100 人	1 月 7 日 (日)
冬	大淀川学習館クイズ大会 (レクチャー室)	大淀川や大淀川学習館に関する問題に挑戦する。	小学生以上 先着 50 人	2 月 18 日 (日)

(2) ふれあいウィークエンド

週末休み等を中心に簡単な工作活動等を行い、自然や文化に対する興味・関心を高める。

No.	イベント名	内容	定員	実施時期
1	紙コップで工作しよう	紙コップを使っておもちゃや人形などを作って遊ぶ。	40 人	4 月 15 日 (土) 9 月 16 日 (土)

No.	イベント名	内容	定員	実施時期
2	ミニ鯉のぼりを作ろう	紙を使って小さな鯉のぼりの飾りを作る。	40人	4月22日(土)
3	新聞紙で かぶと飾りを作ろう	新聞紙を使ってかぶと飾りを作る。	40人	4月29日(土・祝) 5月3日(水・祝)
4	針金アメンボを 浮かせよう	里山に自生している植物の葉を使って、おもちゃを作る。	40人	5月20日(土) 6月4日(日)
5	ゲコゲコガエルを 作ろう	紙コップを使って、音のでるおもちゃを作って遊ぶ。	40人	5月27日(土) 1月20日(土) 3月17日(土)
6	折り紙で水族館を作ろう	魚の形に折った折り紙を箱の中に吊るしてミニ水族館をつくる。	40人	6月11日(日) 11月19日(日) 3月3日(土)
7	紙コップで セミの声をきこう	紙コップを使って、音のでるおもちゃを作って遊ぶ。	40人	6月17日(土) 7月8日(土)
8	七夕飾りを作ろう	紙を使って小さな七夕飾りを作る。	40人	7月2日(日)
9	カブトムシを捕まえ て育ててみよう	カブトムシの捕まえ方や飼育の仕方などを学ぶ。	40人	7月29日(土)
10	木の実であそぼう	木の実をつかって、おもちゃを作ったり、遊んだりする。	40人	9月24日(日)
11	バランストンボを作ろう	紙を使って、指先にバランスをとってとまるトンボを作る。	40人	10月14日(土) 2月17日(土)
12	タネ模型を飛ばそう	紙を使って、風で運ばれる種の模型を作り、飛ばす。	40人	11月5日(日)
13	お正月飾りを作ろう	紙を使って小さなお正月飾りを作る。	40人	12月16日(土)
14	カブトムシの幼虫を 大きく育てる方法を 知ろう	冬を越しているカブトムシの幼虫の育て方を学ぶ。	40人	1月6日(土)

6 その他

(1) 利用者の要望・意見等の把握と対応

一般から公募したモニターに、それぞれの施設、設備や職員対応などの点検を依頼

し、その結果を施設運営の改善に役立てる。

また、事業ごとに参加者アンケートを行い、参加者の満足度や要望・意見などを事業の見直しに反映させる。

なお、施設利用についても来館者アンケートを実施し、苦情等には、利用者目線を第一に適切に対応し、処理結果については、施設職員全体に共有化を図り、再発防止に努める。

(2) 障がい者や高齢者等への配慮

年齢、性別、障害、能力、言語の如何を問わず誰もが利用できる、ユニバーサルデザインの考え方を基本に、スロープ、専用トイレ、授乳室などの設置や車椅子、マットなどの配置ほか、年齢や理解度に応じた資料配布など、障がい者や高齢者、乳幼児等に配慮した事業運営を行う。

また、外国語による分かりやすい案内表示やパンフレットの作成、夏季における休憩場所としての利用など、誰もが利用しやすい施設環境を整える。

(3) コンプライアンスの徹底（法令遵守）

年度当初の全職員を対象とした研修において地方自治法に規定する「公の施設」を運営する指定管理者の職員として「住民の公平かつ平等な施設利用」を確認し、遵守する。

さらに、条例、規則など関係法令を遵守し、特定の団体や個人に利用が偏ることのないよう、利用者目線に立った平等なサービスの提供を実践するとともに、業務に関連して得た個人情報については、協会個人情報保護規程に基づき、適正に保護する。

(4) 安全対策、緊急時対策、防犯・防火対策

大淀川学習館条例8条に基づき、館及び敷地内の秩序維持に努めるとともに、開館時は、事務室にある防犯カメラを通して館内の様子を常時把握する。

また、インストラクターが、館内を巡視し、館内の様子を把握するとともに、緊急時には、来館者の安全確保を図る。

団体利用者の貴重品以外の荷物は、荷物を保管する部屋に施錠し、防犯を図る。また、食中毒防止のため、室温を下げ、弁当の安全な保管にも配慮する。

安全確保のため、団体利用者には、必ず、来館時に館内の諸注意を伝え、安全な利用を促す。引率者には、避難経路図を渡し、緊急時の対応を事前に周知する。

防火対策としては、火災報知器を設置し早期の火災発見を図る。

緊急時に備え、通報連絡体制の整備や危機管理マニュアル（①火災 ②地震・津波 ③不審者）の見直し、各種訓練により、職員が的確な行動がとれる体制を整える。

(5) 広報の充実

市内小学校に年間行事カレンダーを配布するとともに、博物館等の公共施設、公民館、保育所等施設、高齢者福祉施設等に企画展示のポスター・月行事等の案内を送る。

また、ホームページを充実するとともに、ブログ・フェイスブック等の更新を常時行い、新鮮な情報の提供に努め、館周辺を通る方々が情報を得られるよう、看板や掲示板を設置する。

(6) 各種関係団体やボランティア等との連携

開館当初からの協力団体である宮崎自然愛好会やホテル保存会を始め、宮崎内水面

漁業協同組合など多くの関係団体に加え、国土交通省や県、市などの関係機関との連携を継続して推進する。また、動植物に関して高い見識を有する人材やボランティア等の積極的に活用した事業拡充に努める。

(7) 他館との連携

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館などと連携して館を横断する事業を推進する。

平成29年度宮崎市民プラザ事業計画書

基本方針

1 管理運営について

平成29年度は、当協会が宮崎市民プラザの指定管理者として再指定を受けて4年目となり、次期指定管理者公募を見据えた準備や実績を残すための重要な年度となる。そのため、関係法令等を遵守するとともに、開館以来長年にわたり管理運営を行ってきた経験とノウハウを十分に生かした取組みを進めるため、以下のとおり基本方針を定める。

- 〈基本方針1〉 公平・公正な管理運営に努める。
- 〈基本方針2〉 満足度の高い管理運営を行う。
- 〈基本方針3〉 安心・安全で効率的な管理運営を行う。

2 自主事業について

宮崎市民プラザを文化芸術活動の拠点の一つとして機能させ、宮崎市文化振興計画の基本目標である「市民が主役の文化芸術活動の推進」及び「特性を活かした地域文化の振興」を実現するため、以下のとおり取組方針を定める。

- 〈取組方針1〉市民が主役の「宮崎ならではの」文化芸術公演を創造する。【創造・制作事業】
- 〈取組方針2〉市民が文化芸術と出会うきっかけづくりに取り組む。【普及・育成事業】
- 〈取組方針3〉市民に優れた文化芸術公演の鑑賞機会を提供する。【鑑賞事業】

事業概要

1 貸館事業

利用者サービス向上による利用者増加対策や、利用者が安全で快適に利用できる施設運営を行っていくため、ワイヤレスシステムの活用により、オルブライトホールのワイヤレスマイクの使用本数を増やすとともに、ギャラリーのスクリーンを追加導入するなどの利便性向上に取り組む。

2 自主事業

3つの取組方針のもと7事業を展開する。新規事業として、ヴァイオリニストの川久保賜紀さんによるリサイタルや、市民からのリクエスト曲をオーケストラで演奏するコンサート、そして継続事業の「市民プラザ寄席」を拡充してさらに魅力ある内容で取り組む。また、「子どものための文化芸術体験プログラム」及び（一財）地域創造の助成による「公共ホール現代ダンス活性化事業『ダン活』」などの普及育成を図るアウトリーチとワークショップ事業にも取り組み、地域活性化へ貢献する。

○自主事業（実施日順）

No	事業名	内容	実施日
1	市民プラザコンサート 【創造・制作事業】	実行委員会が企画制作する趣向を凝らしたホールコンサート。魅力ある公演を提供し、音楽文化の振興を図る。	8月27日(日)
2	子どものための文化芸術体験プログラム 【普及・育成事業】	演奏家や文化芸術団体等を幼稚園や小学校へ派遣し、普段触れることの少ない文化芸術プログラムを鑑賞および体験する機会を提供する。	9月 (年2回)
3	宮崎・音のスケッチブック～秋のヒーリングコンサート～ 【創造・制作事業】	橘公園噴水広場において、幅広いジャンルの音楽を提供する屋外コンサート。宮崎を中心に活動・活躍している演奏家やアーティスト等の発表機会を創出する。 ※雨天時は、オルブライトホールで開催	10月22日(日)
4	市民プラザ寄席 【鑑賞事業】	宮崎出身で落語家の桂 歌春がプロデュースする寄席を拡充し、人気と実力を兼ね備えた著名な落語家や芸人を迎え、落語はもちろん宮崎オリジナルの大喜利を加えた特別プログラム。落語を通して、古典芸能への興味・関心を高める。	11月4日(土)
5	【新規】 公共ホール現代ダンス活性化事業「ダン活」 【普及・育成事業】	コンテンポラリーダンスのアーティストによる地域交流プログラム(アウトリーチ・公募型ワークショップ)を一般財団法人地域創造の助成により行う。自己表現力やコミュニケーション能力の育成を図る。	12月21日(木) ～24日(日)
6	【新規】 オーケストラ・リクエストコンサート 【鑑賞事業】	オーケストラの魅力を、幅広く気軽に楽しんでいただくために、市民からのリクエスト曲を宮崎のオーケストラが演奏するコンサートを開催する。魅力ある公演を提供し、音楽文化の振興を図る。	2月4日(日)
7	【新規】 川久保賜紀ヴァイオリン・リサイタル 【鑑賞事業】	ザホール・ブロンに師事し、2002年チャイコフスキー国際コンクールで最高位となったヴァイオリニストの川久保賜紀によるリサイタルを開催する。特別ゲストとしてザホール・ブロンを迎える。芸術性の高い魅力ある公演を提供し、音楽文化の振興を図る。	3月17日(土)